

## 平成24年度教育研究活動報告書（河野）

氏 名	河野 洋	所 属	経済情報学部
学 位	修士	職 位	准教授
専門分野	経済学		
I 教育活動			
本年度担当科目			
学 部	経済学入門Ⅱ(マクロ)、演習ⅠⅡ、基礎演習、外書講読、経済成長論、		
大学院	貨幣経済学特論		
II 研究活動			
これまでの主な研究業績（5件まで）			
(1) 貨幣的成長モデルにおける取引コストの役割について、尾道短期大学研究紀要、第49巻 (2)			
(2) ローマー型内生的成長モデルでの政府支出のファイナンスについて、尾道短期大学研究紀要、第48巻（4）			
(3) インフレーションと経済厚生、尾道短期大学研究紀要、第48巻（3）			
(4) Shopping Cost Modelでの貨幣と資本蓄積、尾道短期大学研究紀要、第48巻（2）			

(5) CES型効用関数の下でのインフレーションの加速と資本蓄積、尾道短期大学研究紀要、第48巻(1)

本年度を含む過去5年間の研究業績

(1) ミンスキーの金融不安定性理論について(尾道大学経済情報論集、2011年12月)

(2) ケインズの投資・貨幣市場論について(2)(尾道大学経済情報論集、2010年12月)

(3) ケインズの投資・貨幣市場論について(1)(尾道大学経済情報論集、2010年6月)

(4) 課税とCash in Advance制約(尾道大学経済情報論集、2008年12月)

(5) 流動性リスクと金融市場(尾道大学経済情報論集、2012年12月)

現在の研究テーマ(3つまで)

(1) 負債蓄積と経済動学

(2) 金融仲介機関の行動に関するミクロ的基礎

研究テーマの  
進捗状況

「新しい銀行理論」については、来年度にかなり進展すると思われる。

本年度研究業績

学術論文 「流動性と金融市場」単著(尾道大学経済情報論集P29~46、2012年12月)

学会、所属団体における活動

所属学会・所属団体 役職等

日本経済学会

Ⅲ 社会活動

学外活動

尾道市立大学公開講座で講演「金融オプションの基本的仕組み」2012,6.13